

# 講 評

銀塩写真が発明されて170年になるが、近年デジタル写真が急速に普及し、最近では主流を占めるようになってきている。しかし写真の原理がどう変わっても、写真の力、写真に課せられた役割は変わることはない。写真は家庭の記念写真からメディアの役割まで社会に広く受け入れられている。

そのうちでも表現としての写真が、絵画のような他の分野と異なるのは、「記録性」と「創造」という二極の力を持つことである。私は「記録と創造の融合」こそ新たな写真の地平を切り開くキーワードと受け止めている。それをもとに作者固有の美意識と、進行する時代や社会を切り取る。写真を作品化するゆえんも、この一点にかかっている。

いわき市と言えば一つの時代、日本の写真界をリードした写真家、鈴木清さんがいる。鈴木さんは生涯、記録としての写真をベースに独自の作品世界を凄まじいまでの情熱で追求した写真家である。鈴木さんの作品が死後もなお、観る人の琴線に触れ心を揺さぶるのは、そこに人間としての純な心、人間の条件としての他者を思いやる心、慈愛ともいべき精神性が生き続けているからにほかならない。

第38回を迎えた市民美術展にも心に響く多くの作品が寄せられた。モチーフも人物、風景、祭事やイベントなど多岐にわたり、上位3賞はもとより、佳作25点の作品は作者それぞれの眼差しが光り、全体的に高い水準にあることをうかがわせた。審査に当たっては冒頭で触れたように写真が力とする記録と創造の両面に価値基準を置き、評価した。

市長賞「真希子16才の春に」桜咲く春、題名からして作者は父親であろうか。画面がソフトフォーカスで単純化され、笑みを浮かべた少女の肖像からは、写す側と写される側の太い絆が伝わり、心洗われる思いに駆られる。対象に向けた真直ぐな視線にも、写真本来の力と、作者の濁りのない心のうちが伝わる。

市議会議長賞「満月」記録をベースに満月をとらえ、それを素材に作者固有のイメージで、見る側の想像力を刺激する作品に仕上げている。作品的な完成度も高く、記録的な作品が多いなかで目を引いた。新しい表現の世界は遊び心や冒険心から生まれる。

教育長賞「雄泳」水族館での撮影だろうか。まるでシーラカンスを想像させる魚影。暗闇のなかに巨体をくねらせ、圧倒的な存在感をもって迫ってくる。光と影が描き出した写真の力。作者の想像する眼差しが光っている。佳作では蔵をモチーフにした「郷愁」、雪国の生活をリアルにとらえた「移動販売」、写真というより美術作品の「feel this?」が印象に残った。さらにつけ加えれば作品の優劣を越え、応募作に込められた作者それぞれの表現する心が胸に響いた。

2009年2月25日

審査員 江 成 常 夫  
(写真家)

# 第38回

# 写真の部 入賞者

| 賞 名                  | 題 名         | 氏 名     | 住 所   |
|----------------------|-------------|---------|-------|
| いわき市長賞               | 真希子 16 才の春に | 吉 田 精 利 | 中之作   |
| いわき市議会議長賞            | 満 月         | 森 谷 祐 治 | 鹿島町船戸 |
| いわき市教育委員会<br>教 育 長 賞 | 雄 泳         | 上遠野 真 人 | 小名浜住吉 |

## 《佳 作》

|                          |                 |         |        |
|--------------------------|-----------------|---------|--------|
| いわき商工会議所<br>会 頭 賞        | 郷 愁             | 青 木 正 行 | 小川町上小川 |
| いわき市文化協会<br>会 長 賞        | 移 動 販 売         | 原 三 男   | 内郷御厩町  |
| 福島県報徳社賞                  | feel this ?     | 大 楽 夏 希 | 平北白土   |
| 美術館友の会賞                  | 飛 沫             | 高 橋 濟 男 | 双葉郡富岡町 |
| 社団法人いわき観光<br>まちづくりビューロー賞 | 絆               | 生田目 重 市 | 内郷高野町  |
| 〃                        | 一 瞬 の 極 み       | 増 井 やよい | 平      |
| いわき写真師会賞                 | 消される言葉と消えない気持ち  | 鈴 木 穰 蔵 | 小浜町    |
| 有限会社平電子<br>印 刷 所 賞       | 瞬間のメモリー         | 菊 地 英 夫 | 平赤井    |
| 昭 文 堂 賞                  | ふゆのおさんぽ         | 吉 田 暁 欧 | 平下神谷   |
| N H K<br>文化センター賞         | 秋 涼 の 流 れ       | 大 平 章   | 常磐湯本町  |
| 東日本国際大学賞                 | し づ か な 刻       | 猪 狩 俊 子 | 内郷高坂町  |
| ライフ・フォート&<br>Y K 写真工房賞   | 光 の カ ー テ ン     | 鈴 木 伸 明 | 小名浜大原  |
| 株式会社源太賞                  | 深 紅 の 赫 き       | 久 田 和 江 | 平      |
| 〃                        | 神 の 悪 戯         | 鵜 沼 信 男 | 郷ヶ丘    |
| カメラ・カラープリント<br>ダ ゲ ー ル 賞 | ゆめちゃんと一緒にらめっこ!! | 舩 井 美智子 | 平谷川瀬   |
| 小百合賞 (旬)磐植               | 天 空 の 輝 き       | 江 名 国 夫 | 小名浜    |
| カメラのキタムラ賞                | 氷 像             | 早 坂 公 男 | 平赤井    |
| 源グループ磯勘賞                 | 初 霜             | 渡 辺 保 子 | 平      |
| 〃                        | 惜 別             | 丸 山 正   | 内郷高坂町  |
| 源グループ漁夫賞                 | サラサヤンマ飛翔        | 鳥 海 陽太郎 | 平      |
| だいこん家賞                   | 雨上がりの峠道         | 太 田 昭 子 | 小名浜    |
| 〃                        | 秋 灯             | 草 野 喜 雄 | 中央台    |
| 丸貞かまぼこ賞                  | 母ちゃんパワー集合       | 猪 狩 清 恵 | 平下平窪   |
| 〃                        | 大 地 の 力         | 菊 地 ケサ子 | 平赤井    |
| アートスペース泉賞                | テ リ ト リ         | 芳 賀 道 子 | 平      |

## 講 評

第39回いわき市民美術展で、写真の部は16回目の開催であり、この間に写真を取り巻く環境は銀塩写真からデジタルへと大きく変化しての審査であった。

画像を定着するメディアがいかに変化しようと、目前に広がる事象、現象の持ち味や事物の一瞬を光を束ねてレンズを通し定着することには変わりなく、それらを見る、感じる目、ところが重要なことであるのは変りない。

カメラが発達してきて、「モノ」を有りのままに捉えることは容易になったが、それでは複写にしか過ぎず、モノから事柄にどう昇華させるかに表現は関わっていく。一枚の写真から物語性を観る者に与えられるかであり、そこに写真表現の面白味と楽しみがある。

応募された251点には、多岐にわたる被写体にカメラは向けられ、さまざまな写真テクニックを駆使して、非常に写実的なものから、自己表現まで高めようとした実験的な作品まであり、しかも、20才から最高齢は90才と幅広い年齢層に及んでいたのは素晴らしい。この地域で写真がこれほど普及し、愛好されているかを伺い知ることができた。

土地柄もあってか、風景的な作品が多く見られたが、人物ものに対するスナップなどは、肖像権問題が喧伝されている影響もあるのかとも思ったが、身近にそれだけの風景があることはうらやましい限りであり、美意識、美感覚が発揮され見事だった。

市長賞「夕暮れさんぽ道」は、日常性のなかの光景に目を止めた作品で、散歩の情景を逆光線が巧みに使われ、モノクロームで捉えた画面には、作者の人物に対する優しい眼差しがある一方、祖父としか居られないこの子の淋しい現状をも感じさせる内容を持ち秀逸だった。

市議会議長賞「ギャング」は、魚を即物的に撮っているが、その表情からして恐怖心を感じさせる表現となっているのは、背後の闇から突進してくるかにあり、リアリティがあり、モノクロームの力を見せつけるものである。

教育長賞「いってきまーす」は、一般的には露出オーバーと思われる仕上がりだろうが、この調子と表情によって、白々しさがある空気感となり、物語性の豊かな作品となっている。

その他、佳作にも見るべき作品が多く、独自性がしっかりとて、心に響くまた迫ってくるものとして「ふれあい」、「みつめて 佳穂2才」「恋将軍」「大般若法要」があり、日頃の研さんぶりを強く感じるものだった。

最後に、「どう撮るか」ではなく「何を撮るか」で作者の表現は完成度の高いものになることを付け加えておきたい。

2010年2月24日

審査員 中谷 吉隆

(写真家)

## 第39回

## 写真の部 入賞者

| 賞 名                      | 題 名                 | 氏 名         | 住 所         |
|--------------------------|---------------------|-------------|-------------|
| いわき市長賞                   | 夕暮れさんぽ道             | 吉田 暁 欧      | 平下神谷        |
| いわき市議会議長賞                | ギャング                | 遠藤 勉        | 好間町榊小屋      |
| いわき市教育委員会<br>教育長賞        | いってきまーす             | 岩塚 昭 広      | 小川町上小川      |
| 《佳 作》                    |                     |             |             |
| いわき商工会議所<br>会頭賞          | ふれあい                | 亀山 邦 夫      | 双葉郡楢葉町山田岡   |
| いわき市文化協会<br>会長賞          | みつめて 佳穂2才           | 増井 やよい      | 平           |
| 福島県報徳社賞                  | 恋将軍                 | 佐川 貴子       | 中央台         |
| 美術館友の会賞                  | 大般若法要               | 中澤 幹太郎      | 平下平窪        |
| 社団法人いわき観光<br>まちづくりビューロー賞 | 円 相                 | 増井 俊一       | 平           |
| 〃                        | spoon               | 吉田 正 男      | 平中神谷        |
| 福島県営業写真館協会<br>いわき支部賞     | 心の伝承                | 木幡 啓二       | 双葉郡大熊町大字下野上 |
| 有限会社平電子<br>印刷所賞          | 老の叫び                | 鶴沼 信男       | 郷ヶ丘         |
| 昭文堂賞                     | 無病息災                | 鈴木 治子       | 常磐西郷町       |
| NHK<br>文化センター賞           | 独眼流駝鳥ノ介             | 丸山 正        | 内郷高坂町       |
| 東日本国際大学賞                 | サーモン・サーフィン          | 長谷川 恵子      | 四倉町         |
| ライフ・フォート&<br>YK写真工房賞     | 靉44ドワーフシンデレラガールグラフィ | DWARF(ドワーフ) | 郷ヶ丘         |
| 株式会社源太賞                  | 望 郷                 | 青木 正 行      | 小川町上小川      |
| 〃                        | メーキャップ              | 舛井 美智子      | 平谷川瀬        |
| カメラ・カラープリント<br>ダゲール賞     | 炎の舞                 | 中川 秀 男      | 好間町上好間      |
| 小百合賞(南磐植)                | 夕月夜                 | 矢吹 又 夫      | 郷ヶ丘         |
| カメラのキタムラ賞                | 祈 念                 | 引地 幸 枝      | 郷ヶ丘         |
| 源グループ磯勘賞                 | 侘 花                 | 佐藤 隆 義      | 常磐下湯長谷町     |
| 〃                        | 初 稽 古               | 天野 正 喜      | 平下神谷        |
| 源グループ漁夫賞                 | 幽谷への誘い              | 長谷川 清 夫     | 四倉町         |
| だいこん家賞                   | 窓 舞 台               | 石田 俊 一      | 泉町滝尻        |
| 〃                        | 幽 玄                 | 高橋 済 男      | 双葉郡富岡町小浜    |
| 丸貞かまぼこ賞                  | 宵 桜                 | 片寄 和 彦      | 平           |
| 〃                        | 華 鏡                 | 久田 和 江      | 平           |
| アートスペース泉賞                | 水 祝 儀               | 長谷川 錦 治     | 郷ヶ丘         |
| カメラの矢吹賞                  | 豊饒の一日の終わり           | 四家 拓 也      | 常磐三沢町       |
| マリアジュエル オオヒラ賞            | 夢想への誘い              | 石森 文 夫      | 小名浜林城       |

# 講 評

初めていわきを訪れ、「いわき市民美術展」の写真審査に参加させて頂きましたが、応募された皆さんの写真に対する意識の高さが伝わり、ハイレベルな選考になりました。全体を通して感じたことは、個性を映し出した写真が多いことです。自分を作り上げた記憶のあらゆる要素を無意識に被写体に重ね合わせ、シャッターを押している感覚が伝わります。写真は人生のように人それぞれです。その人自身が垣間見える写真は、他の写真に似ていません。審査では、美しいだけでなく作品に潜む物語を大切に選びました。

市長賞 セイウチに群がり写真を撮る活気に満ちた人たち。一目見て、圧倒されるインパクトがあります。なのに、よく見ると誰も目線がありません。セイウチも中心でこちらにポーズする少女ですら、目線はないのです。それがこの写真の優れた面白さになっています。構図や光、色合いも絶妙なバランスで、庶民的なスナップが不思議な世界感をかもし出しています。

議長賞 完成度の高い作品です。写り込んだ影が深さを与え、少女の永遠の時間がゆっくりと流れているようです。背景の花柄や下地に赤を引くことで、少女性がより濃く表現として伝わってきます。強いて言えば、プリントにコントラストをもっと付けるかもっとトーンを出していれば、インパクトが強くなり市長賞も狙えたでしょう。

教育長賞 うむを言わさぬ写真の強さがあります。よく見れば構図的には、もう少し人物の左に回って撮られたらより迫力が出たのかなと思うのですが、それも気にならないほど集中している「表情」に引かれます。大胆に頭をトリミングしたことも写真の勢いになっています。人物も色も独特で、昔の日本映画の一場面のような迫力ある写真です。

佳作 「祈陽」はよくある夕日の逆光の人物写真なのですが、雲や建物の背景の配置が絶妙で、その場の状況をうまく伝える要素としてとても生きています。「激突」はまるで印象派の絵画のようです。波の迫力と色の静けさが、アンバランスな魅力を感じます。「人間模様」は、雪と影だけの色の無い世界ですが、生命感が伝わり、見ているとそれぞれの人生が見えてくるようです。「クツガホシクナル」は、作品として完成度が弱いのですが、内なる自分の世界を表現しようとする気迫が一番感じました。独特の世界なので、より仕上げのイメージを大切に励んで欲しいと思います。「風の造形」は抽象画のような、自分の感情で見えてくるものが違う写真としての面白さがとてもあります。「メルヘン」は透明感のあるほのぼのとした写真ですが、しっかりと計算された構図です。なによりも、撮ることの楽しさを教えてくれる写真です。上げたら切りがないのですが、全作品を通して、出品者と個人的に対話した印象です。上手に撮ることよりも、自由な発想で写真を楽しんでいる作品と出会えて、よい時間でした。写真機は鏡。写真を撮ることは自分の心にピントを合わせることだとあらためて思いました。

2011年2月23日

審査員 安 珠  
(写真家)

# 第40回

# 写真の部 入賞者

| 賞 名                       | 題 名           | 氏 名         | 住 所         |
|---------------------------|---------------|-------------|-------------|
| いわき市長賞                    | 撮 影 会         | 泉 武 子       | 金山町         |
| いわき市議会議長賞                 | i m a g i n e | タイラクナツキ     | 平北白土        |
| いわき市教育委員会<br>教 育 長 賞      | 専 心           | 跡 部 裕 人     | 双葉郡広野町下北迫   |
| 《佳 作》                     |               |             |             |
| いわき商工会議所<br>会 頭 賞         | 祈 陽           | 鶴 沼 信 男     | 郷ケ丘         |
| いわき市文化協会<br>会 長 賞         | 激 突           | 丹 野 孝       | 桜ケ丘         |
| （財）福島県報徳社賞                | 人 間 模 様       | 佐 藤 大 志     | 平赤井         |
| 美術館友の会賞                   | クツガホシクナル      | DWARF(ドワーフ) | 郷ケ丘         |
| 社団法人いわき観光<br>まちづくりビューロー賞  | 風 の 造 形       | 小 野 貞 夫     | 平薄磯         |
| ”                         | メ ル ヘ ン       | 高 木 志 津 夫   | 小名浜         |
| 福島県営業写真館協会<br>い わ き 支 部 賞 | 小 春 日 和       | 小 川 庄 治     | 内郷内町        |
| 有限会社平電子印刷所賞               | 静 寂 の 朝       | 高 橋 濟 男     | 双葉郡富岡町小浜    |
| 昭 文 堂 賞                   | 誘 月           | 矢 吹 又 夫     | 郷ケ丘         |
| NHK文化センター賞                | 初 冠 雪 の 頃     | 太 平 章       | 常磐上湯長谷町     |
| 東日本国際大学賞                  | 旅 情           | 高 萩 泰 義     | 鹿島町米田       |
| ライフ・フォート&<br>YK写真工房賞      | あ く ろ ば つ と   | 斉 藤 趙 一     | 小名浜野田       |
| 株式会社源太賞                   | 砂 紋           | 永 山 淳       | 内郷宮町        |
| ”                         | か たち ある も の   | 瀬 名 秀 俊     | 平下神谷        |
| カメラ・カラープリント<br>ダゲール賞      | 宵 の 宴         | 菊 地 英 夫     | 平赤井         |
| 小百合賞(有)磐植                 | 午 後 の ひ と と き | 中 川 司       | 好間町上好間      |
| カメラのキタムラ賞                 | お う ま さ ん     | 上 原 久 子     | 内郷内町        |
| 源グループ磯勘賞                  | 光 彩 競 演       | 菊 地 ケ サ 子   | 平赤井         |
| ”                         | 夏 の 終 わ り に   | 木 幡 啓 二     | 双葉郡大熊町大字下野上 |
| 源グループ漁夫賞                  | 小 春 日 和       | 藤 橋 京 子     | 平中神谷        |
| だいこん家賞                    | Snow Window   | 大 竹 哲 也     | 平赤井         |
| ”                         | ニ ガ 笑 い       | 望 月 治       | 双葉郡富岡町本町    |
| 丸貞かまぼこ賞                   | 冬 の 風 物 詩     | 上 遠 野 松 雄   | 遠野町上遠野      |
| ”                         | 古 木 と の 語 ら い | 萩 野 保 夫     | 常磐上湯長谷町     |
| アートスペース泉賞                 | ふ た り っ こ     | 木 村 逸 朗     | 四倉町上仁井田     |
| カメラの矢吹賞                   | 猪 苗 代 妖 怪     | 樋 口 キ ク エ   | 南台          |
| マリアジュエル オオヒラ賞             | 乙 女 の 祈 り     | 早 坂 慧 子     | 平赤井         |

## 審査にあたって

まず初めに、この1年間をさまざまな思いで過ごされた方々へ心よりお見舞い申し上げます。

審査会場で見た応募作品の中にも、テレビのニュースなどより強いメッセージを感じる作品がありました。写真の要素である光の使い方、瞬間、表現力、そして何より記録性を今更ながら認識させられました。起きた現実甲乙をつけることは出来ませんが、市民美術展への応募作品として見せていただきました。

審査というのは、応募者の一生懸命な努力に対してではありません。一生懸命なのは皆同じだと思いますから。それにしても、額装や表現形体にも強い個性を感じました。この美術展へのみなさまの思いも受け止めながら、私のこころの針が大きく振れた作品が選ばれました。入賞者へはおめでとうを、惜しくも選外になられた方へは、再チャレンジのチャンスです！

市長賞の引地さんの作品には、写真の要素プラス人間のこころ、あたたかさ、ありがたさなどを感じました。構図を支える大きな手と小さな手、見守る視線と見上げる視線など多くの物語をも含んでいますね。

議長賞の舛井さんの作品は光の使い方が秀逸です。モノクロ表現はテーマとも合っていて、二人の会話が聞こえるようです。素晴らしい写真の力です。

教育長賞の上原さんの作品は、これぞ写真という質感に圧倒されました。カメラはフィルムでもデジタルでも、プリントをしてこそ“写真”です。いいプリントは正しい露出補正からしか生まれません。画像ではなく写真を愉しむ人の目標のひとつも質感再現です。

佳作の人たちの層の厚さに、いわき市民美術展への期待は大きいです。

ぜひ、小中学生を会場へ連れて来て下さい。一枚の写真の前でいろいろ感想を述べ合ってゆっくり時間を過ごして下さい。展覧会というのは、人の輪を広げる場でもあります。

今年も来年も春は来ます。きっと来ます。

平成24年2月22日

審査員 徳光 ゆかり  
(写真家)

## 第41回

## 写真の部 入賞者

| 賞 名                      | 題 名               | 氏 名    | 住 所    |
|--------------------------|-------------------|--------|--------|
| いわき市長賞                   | じいちゃん大好き          | 引地 幸枝  | 郷ヶ丘    |
| いわき市議会議長賞                | いつも一緒に            | 舛井 美智子 | 平谷川瀬   |
| いわき市教育委員会<br>教育長賞        | 縞模様               | 上原 久子  | 内郷内町   |
| 《佳 作》                    |                   |        |        |
| いわき商工会議所<br>会 頭 賞        | 雨上がりの贈り物          | 久田 喜也  | 平      |
| いわき市文化協会<br>会 長 賞        | 昊 矢 2 歳           | 江尻 兆一  | 平北神谷   |
| 福島県報徳社賞                  | 初秋の爽客             | 赤津 芳江  | 勿来町    |
| 美術館友の会賞                  | 復興の舞              | 四家 和也  | 内郷高坂町  |
| 社団法人いわき観光<br>まちづくりビューロー賞 | 宝 船               | 鵜沼 信男  | 郷ヶ丘    |
| ”                        | 眼 光               | 長谷川 清夫 | 四倉町    |
| 福島県営業写真館協会<br>いわき支部賞     | 一歩、未来へ            | 高橋 雅仁  | 江名     |
| 有限会社平電子印刷所賞              | 「HM-002」          | 松本 百聞  | 勿来町    |
| 昭文堂賞                     | しぶきの中を            | 平沢 ミチ子 | 錦町     |
| 東日本国際大学賞                 | ひとやすみ             | 葛原 博昭  | 中央台    |
| ライフ・フォート &<br>YK写真工房賞    | 春の詩               | 古川 方明  | 常磐関船町  |
| カメラ・カラープリント<br>ダゲール賞     | またね               | ぶー     | 平      |
| 小百合賞(旬)磐植                | 里山の春              | 遠藤 文夫  | 平下神谷   |
| カメラのキタムラ賞                | 喝采に應えて<br>(秩父夜祭り) | 泉 武子   | 金山町    |
| アーツスペース泉賞                | 秋稼の頃              | 高萩 泰義  | 鹿島町米田  |
| カメラの矢吹賞                  | 落日の広野             | 戸松 博通  | 郷ヶ丘    |
| マリアジュエル オオヒラ賞            | 職 人               | 猪狩 マツエ | 遠野町上遠野 |
| いわき写真協会賞                 | 感謝を込めて            | 横山 孝   | 石森     |

## 審査にあたって

応募作品全体の傾向として、表現内容、対象、形式など多様な広がりが見られたのは、市民公募という意味からも大変よいと思いました。3.11以降、二年が経とうとする今、市民の中に少しづつ以前の日常をとり戻しつつある証を感じました。

そんな中で自然詠ともいえる自然の風景への眼差しが目立ちました。人事を超えて不変不易にくり返されるように見える自然の営みに引き寄せられ、畏敬を感じさせられるのかも知れません。また、人物の表現は多様な試みがなされていて、真正面から Face to Face<sup>フェイス トゥ フェイス</sup> に向かい合うもの、家族の絆を確認するもの、祭やイベントへの参加などなど、カメラが手元にあるからこそ、他者との深いコミュニケーションへと至っているという、このメディアだからこそその表現が顕著であったことはうれしい限りです。また、作品数は少なかったですが、デジタル化に伴う新しい表現、アート化への試行などの挑戦も散見、今後に繋がることでしょう。

総体として、豊かな市民意識がよく反映された公募展となっています。

- ・市長賞「織月の刻」草野小鶴恵  
暁か宵か。一刻一刻と変化するデリケートな光の下に、静かに悠遠と広がる大地、微笑みかけるような三日月、見事な詠嘆が心よい。
- ・議長賞「命のせんたく（三姉妹）」舛井美智子  
老境の三姉妹、久し振りに逢い集ったのか、その喜びを、二重（枚）にくり返すことで、生きてきた喜びを噛み締めている様子です。二枚の構成が成功に導いています。
- ・教育長賞「可憐に舞う」丹野孝  
水族館の光の中で色とりどりの魚たちが、宙に浮いているような幻想的情景をつくり出しています。その向こうに夜の明かりが灯り出した港街。生きるということの不条理、困難さ、不思議さが、フツと頭を過ぎさせる重い内容ともとれる秀作です。

最後に、写真表現は、他者への関心を深め、理解を獲得する行為でもあります。また、豊かな人間関係を造りあげてゆける方法でもあります。一人でも多くの方が写真に深く関わっていくことを期待します。

平成 25 年 2 月 20 日

審査員 土田ヒロミ  
(写真家)

## 第42回

## 写真の部 入賞者

| 賞名                       | 題名              | 氏名     | 住所    |
|--------------------------|-----------------|--------|-------|
| いわき市長賞                   | 織月の刻            | 草野小鶴恵  | 自由ヶ丘  |
| いわき市議会議長賞                | 命のせんたく(三姉妹)     | 舛井美智子  | 平谷川瀬  |
| いわき市教育委員会<br>教育長賞        | 可憐に舞う           | 丹野孝    | 桜ヶ丘   |
| 《佳作》                     |                 |        |       |
| いわき商工会議所<br>会頭賞          | 静寂の秋            | 高橋濟男   | 平赤井   |
| いわき市文化<br>協会会長賞          | ちっちゃな探検隊        | 吉田暁欧   | 平下神谷  |
| 福島県報徳社賞                  | 静かな漁港           | 上原久子   | 内郷内町  |
| 美術館友の会賞                  | 水面の鏡            | 菊地英夫   | 平赤井   |
| 社団法人いわき観光<br>まちづくりビューロー賞 | 油蟬の羽化           | 長谷川安四郎 | 石森    |
| ”                        | 元気だっぺ!いわき       | 茜潤     | 桜ヶ丘   |
| 福島県営業写真館協会<br>いわき支部賞     | NO XXXs あうあふチャー | 安岡仁美   | 小名浜   |
| 昭文堂賞                     | 勅使童児            | 泉武子    | 金山町   |
| 東日本国際大学賞                 | 氷はアーティスト        | 江尻慎一郎  | 泉町下川  |
| ライフ・フォート&<br>Y K 写真工房賞   | ショウジョウトンボ輝く     | 鳥海陽太郎  | 平     |
| カメラ・カラープリント<br>ダゲール賞     | 静寂の中を           | 谷口俊二   | 内郷高坂町 |
| 小百合賞 (有)磐植               | 華やかな季節          | 大津賀禮子  | 内郷高野町 |
| カメラのキタムラ賞                | 出航              | 遠藤紀光   | 内郷内町  |
| アーツスペース泉賞                | 静雪              | 石田俊一   | 泉町滝尻  |
| カメラの矢吹賞                  | 佳穂(5才)とピアノ      | 増井やよい  | 平     |
| いわき写真協会賞                 | 錦紗              | 加澤都子   | 小名浜   |
| 株式会社イガリ印刷賞               | 復興の響き           | 長谷川錦治  | 郷ヶ丘   |

## 審査にあたって

応募作品の傾向として、ジャンルにとらわれることのない多様な表現の広がりがあり、この地域の文化の成熟がひしひしと作品から伝わってきました。そして、3.11以降の地域の皆さんの気持ちのなかに、以前と変わらぬ穏やかな心もどってきているようにも思えました。

なかでも目立ったのが自然の豊かさを真摯に見つめた作品群。どんなに美しい光景でも不変はあり得ず、片時もとどまることがないものだと…そこには過去の経験から学び得た自然への感情の広がりを感じずにはいられません。

また、祭りや日常の生活感などの、人とのつながりを大切に描いた作品からも、今の一瞬に生命の宿りを求めているかに思えるものも沢山ありました。これはカメラを趣味とすることで気づき満たされる、充実感の表れそのものなのです。写真環境もデジタル化が進む中で、いま必要な心の絆を重んじる作品が比較的多く応募された「いわき市美展」は、地域の枠にとどまらない魅力的な写真公募展といえるでしょう。

### ■いわき市長賞「夏の思い出」

暮れの夏に祈りをささげる“ろうそく祭り”のワンシーン。少女の純粋無垢な瞳は楽しかった夏の日々を回想しているかのよう…。それは光に浮かび上がった焼けた肌の質感や、汗ばむ髪の毛の湿気感からもうかがえます。モノトーンにより色彩を消すことで子供の造形が明確に浮かび上がり、その刹那の姿からは少女の未来が輝いています。ややコントラストを抑えたプリントからは夏の終わりの憂鬱感が伝わってきます。

### ■いわき市議会議長賞「怒濤に耐えて」

海を神と敬い、また心のよりどころとして鳥居は建てられたのでしょうか。その環境の厳しさが砕け散る波濤の豪快さによって表現されています。静と動のシャッター速度が絶妙で、リアルな緊張感が漂うところもいいです。また赤色から受けるインパクトは危機感を増幅し、中央に置いた画面構成によってさらに鳥居の存在感が増しました。

### ■いわき市教育委員会教育長賞「港町にあふれる喜び」

宿った新しい命をいたわるかのように背後から抱擁する男性の姿と、優しい笑顔の女性にうっとりとしてしまう写真ですね。見るからに幸せいっぱいのカップルです。そっと重ねた手からも温もりが感じられ好感です。写真と一緒にメッセージを入れた工夫や白色に統一した額装からは、無垢からの旅立ちを感じるもので新しい構想だと思いました。

最後に、表現は多くの共感を得ることで自己を満たします。本当に美しいと思える光景は、被写体に対し素直に向き合える自分の心がなければ存在しません。我々の日常生活と同じく、“相手を思いやる”ことで双方の心が共鳴するのだとこの審査をもって再認識しました。

これからも地域文化向上の足掛けとして、「いわき市美展」のさらなる発展を期待します。

平成 25 年 8 月 7 日

審査員 辰野 清

(写真家)

## 第43回

## 写真の部 入賞者

| 賞 名                  | 題 名                           | 氏 名    | 住 所     |
|----------------------|-------------------------------|--------|---------|
| いわき市長賞               | 夏の思い出                         | 早坂 慧子  | 平赤井     |
| いわき市議会議長賞            | 怒濤に耐えて                        | 横山 孝   | 石森      |
| いわき市教育委員会教育長賞        | 港町にあふれる喜び                     | 徳田 崇史  | 好間町下好間  |
| 《佳作》                 |                               |        |         |
| いわき商工会議所会頭賞          | 廃墟の森                          | 永山 淳   | 内郷宮町    |
| いわき市文化協会会長賞          | あの海に咲きし花                      | 建川 勉   | 平下神谷    |
| 福島県報徳社賞              | 仲良し                           | 上原 久子  | 内郷内町    |
| 美術館友の会賞              | ゆかいななかま                       | 鈴木 伸明  | 小名浜大原   |
| 社団法人いわき観光まちづくりビューロー賞 | 幽艶(新田の大山桜)                    | 黒澤 泰弘  | 平下平窪    |
| 〃                    | 入魂                            | 野木 道弘  | 常磐松が台   |
| 福島県営業写真館協会いわき支部賞     | 飛翔                            | 小野 貞夫  | 中央台鹿島   |
| 昭文堂賞                 | 春を駆ける                         | 佐川 かつ子 | 平谷川瀬    |
| 東日本国際大学賞             | 非日常 <small>にちじょうにあらざる</small> | 吉田 暁欧  | 平下神谷    |
| ライフ・フォート&YK写真工房賞     | 優しさ                           | 石田 俊一  | 泉町滝尻    |
| カメラ・カラープリントダゲール賞     | 山頂快晴                          | 富岡 榮子  | 内郷高坂町   |
| 小百合賞 (旬)磐植           | 挑戦                            | 鈴木 功美  | 平上平窪    |
| カメラのキタムラ賞            | 耀き                            | 柏 館 健  | 金山町     |
| カメラの矢吹賞              | ハイ! チーズ                       | 新妻 美宏  | 平中平窪    |
| いわき写真協会賞             | 祈願祈禱                          | 片山 ツヤ子 | 常磐上湯長谷町 |
| 常磐工業株式会社賞            | 止まった時間                        | 岩野 保幸  | 平南白土    |
| テラツツァ賞               | 勝負の眼光                         | 井戸川 則隆 | 中央台高久   |